

令和7年度第3回三条市スポーツ推進審議会会議録（概要）

1 日 時 令和8年3月26日（木）午前10時から10時50分まで

2 会 場 体育文化会館1階 マルチルーム1A

3 議 題

- (1) 三条市スポーツ推進計画に基づいた具体的な取組について
- (2) 令和8年度三条市のスポーツについて

4 出席状況

- (1) 出席委員
佐藤会長、久保田副会長、中條委員、岩瀬委員、結城委員、小林委員、小柳委員、梨本委員、皆川委員
- (2) 欠席委員
杉山委員、田中委員、芳竹委員
- (3) 事務局
福祉保健部 村上部長
健康づくり課 小林課長、佐藤室長、竹見主査、矢澤主事
- (4) 報道機関 なし

5 内 容

- (1) 開 会
- (2) あいさつ 村上福祉保健部長
- (3) 議 題
ア 三条市スポーツ推進計画に基づいた具体的な取組について
事務局（佐藤室長）から資料に基づき説明
イ 令和8年度三条市のスポーツについて
事務局（佐藤室長）から資料に基づき説明

結城委員	～質問～ 令和8年度三条市のスポーツの2ページの2スポーツ環境及び支援体制の充実(4)市内中学校及び小中一体校体育館への空調設備の導入について、第三中学校は5月には工事が完了する。県内で空調設備を入れている学校は、燕市がスポットクーラーを設置しているが、他は事例がない。空調設置後の効果やスポーツの子どものための競技力向上など、成果が出た段階で今後の審議会で話したい。
村上部長	続いて、1スポーツに親しむ機会の充実についての(7)八十里越開通記念マラソン大会実施に向けた検討、について中体連関連の大会である県駅伝大会は、例年、妙高で開催していたが、クマの影響を考慮し、来年度は、ビックスワン周辺で行うこととしている。八十里越でもクマの影響等が懸念されると思い話をした。 空調設備については、三条市が力を入れて教育委員会で行っている。これに関連して、市内小中学校及び一体校の体育館を利用して行っているスポーツ開放の空調利用については、現状、体育館施設使用料は無料だが、空調を使う場合には、利用者から一定の負担を頂くことと

<p>佐藤会長 村上部長</p>	<p>している。教育委員会と一緒に、福祉保健部としても、利用者に丁寧に説明をしていきたい。</p> <p>八十里越マラソンについては、クマの問題や、山間地域を通るためアップダウンやトンネル等の問題もある。関係者の意見を聞きながら、どういう取組が可能か慎重に検討していきたい。</p> <p>開催時期や年度は決まっているか。</p> <p>決まっていない。実際の工事は国が施行しているが、国の予算の付き具合などの問題があり、なかなか開催時期が決まらない。開通前のタイミングで実施するのだろうが、開通日が決まらなると時期が決まらず準備がいつできるのかということになる。また、開通してしまうと実施が難しい。地元や三条市スポーツ協会、陸上競技協会を含めて検討していきたい。</p>
<p>岩瀬委員</p>	<p>八十里越に関連して、下田地区スポーツ協会が毎年6月に新緑ロードレース大会を開催しているが、来年度は只見町にも参加してもらえよう動いている。只見町の高校生を迎えて野球大会で交流を図っている経緯もある。八十里越の開通が間近に迫ってきており、只見町からの開通への期待が高く、下田地区の熱量が上がっている感じがする。資料No.1の主要施策7に、スポーツと観光の視点がある。新緑ロードレース大会はスポーツツーリズムにつながるものと考えているが、今後スポーツと観光の関係はどうか。スポーツツーリズムにつながる今後の方針感を知りたい。一過性のもの以外に今後、継続される取組はあるか。</p>
<p>佐藤室長</p>	<p>計画の66ページにあるが、「アウトドアのまち三条」を宣言しており、カヌー協会からも、パドルスポーツフェスタは会場を大谷ダムに変更し、営業戦略室も関連して参画して、八十里越開通を見据えて取組を行う予定である。他のことが出来るようであれば検討したい。企業や商工課からも協力できる部分があれば考えたい。</p>
<p>村上部長</p>	<p>八十里越開通の機運を高めることは非常に大事と思っている。他の分野もあるが、まずはスポーツの分野で三条市と只見町とが開通の機運を高めるということを、既存のイベントに交流を織り交ぜてやっていきたいと思っている。その先も一過性のものではなく、スポーツに光を当ててスポーツツーリズムについて考えていきたい。</p>
<p>岩瀬委員</p>	<p>只見町から三条市に入ると大谷ダムのところが最初に見えてくる。スポーツツーリズムの視点でいうと、スポーツ担当部署だけでは難しい。商工課や地域経営課、営業戦略室など色々な課が入り交じって、課を超えて共有しながら事業を進めてもらいたい。</p>
<p>佐藤室長</p>	<p>健康づくり課と営業戦略室は連絡を密にしている。八十里越開通のあらゆる事前の機運醸成やそれに伴うイベントは、総務部の政策推進課で、全体像を取りまとめて、情報の共有を図っており、市をあげて連帯を図っている。</p>
<p>佐藤会長</p>	<p>例えば大会や合宿の誘致など、市から補助を出すから色々な関係団体に声をかけて、ということのを他の市町村から聞いているが、三条市では取組はあるか。</p>
<p>佐藤室長 村上部長</p>	<p>現状として、受け入れる施設と宿泊のマッチングがなく、補助を受けてやりたいとの声もない、話は来ていない。</p> <p>合宿ではないが、数年前からサマーリーグを市民球場で開催してい</p>

佐藤会長	<p>る。只見町の高校野球部と市内の高校野球部との交流試合も毎年行っていて、一部市もお金を出す取組や、市が支援しているところもある。何か話があれば、検討していきたい。</p> <p>取組を強化する考えがあるのであれば、市からこういう施設や宿泊施設があるなどの照会を行うなど関係団体を誘う取組があればよい。</p>
村上部長	<p>計画でも触れているが、スポーツは、あらゆる取組の起爆剤や推進力になるものなので、産業振興や交流人口の拡大を含めてスポーツの推進を図っていききたいと考えている。</p>
中條委員	<p>市長と教育長同席の中で、総合運動公園のサッカー場のナイター等について要望を行ったが、現在の進捗と見解はどうか。</p>
村上部長	<p>また、市民プール利用については、市民や水泳協会からも、廃止するとか、なくなると困るといった意見を頂いている。スポーツ協会としてどう回答するべきか。見解を聞かせてほしい。</p>
村上部長	<p>ナイター施設の要望については、今年度、総合運動公園市民球場のスコアボード改修工事やサッカー場人工芝化工事など大規模な工事を行っているため、今のところ具体的にナイターまで財源がまわせない状況である。要望を頂いているので検討課題とさせてもらっているが令和8年度は具体の動きはない状況である。検討していきたい。</p> <p>市民プールの状況は、市民から市長へのたよりをいただいたり、市議会の一般質問で市民プールがどうなるのか質問を頂いている。市民プールは50年以上を経過しており、老朽化している。利用者の皆様には、本当に不便をおかけしている。ただ、難しいのは、今後の人口減少社会において、建設費だけでなく維持費に金がかかる。一定のニーズはあり、1日に平均すると140人余りの利用を頂いていて、お子さんから高齢者まで多くの人たちに利用を頂いており、今後の人口や財政の問題を踏まえながら、これから具体の検討に入る。市の公共施設再配置計画は民営化や廃止を検討する施設であるが、すぐ打ち切るのではなく、皆さんの意見を十分聞きながら、広域的な取組を踏まえながら考えていくべきだと思っている。指定管理の期間は令和11年度までお願いしており、指定管理期間が終わる、少なくとも令和10年度までには、一定の判断をしていきたい。</p>
中條委員	<p>スポーツ協会としては、市から具体の案が出来ていないため、協会としては答えようがないということで対応したい。</p>
村上部長	<p>いずれにしても、この件は走り出さないといけないと思っており、具体のアクションが決まったら、スポーツ協会や審議会の中で話を進めていきたい。</p>
岩瀬委員	<p>三条市のスポーツ2ページの、2スポーツ環境及び支援体制の充実の(6)部活動地域展開、スポーツ少年団改革を踏まえた新たな総合型地域スポーツクラブの設立に向けた検討について、令和8年度は部活動地域展開が大きく動く年である。総合型地域スポーツクラブの新たなプラットフォーム化に向けて動きを進めているが、前期、後期の改革実行期間内にある程度形を整えていくことになると、スポーツ少年団の改革も差し迫った課題が出てくる。学童期から中学生期は、チームスポーツについては、同じチーム、同じ地域で活動できるのが一番良いと思っているが、スポーツ少年団は、かなり人数が少なくなっており、今は小学生から中学生にかけて、活動地点がばらけて分断さ</p>

村上部長	<p>れている。小学生から中学生にかけて縦でつながりがあるような取組をしていこうとすると、既存のスポーツ団体をどう融合させるか課題である。これまでの既存のチームの在り方を改革していかないと(6)の課題は解決していかない。自分が作ったチームといった指導者の感情論がぶつかるとうまくいかない。この部分にもメスを入れていかないと、少子化の部分は解決していかない。スポーツ協会だけでは、この取組は難しく、市全体で取り組んで改革を進めていかないといけない。三条市も一緒になって支援いただきたい。この審議会でも話題にあげて頂いたり、改革できるような取組をお願いしたい。</p> <p>これまでになかった急激な人口減少が続いていて、あらゆる社会のシステムを見直す時期に来ている中で、スポーツは、人がまとまっていけないと成立しない活動だと思っている。皆さんに御理解を頂きながら幅広く、子どもから高齢者まで、生涯にわたってスポーツを楽しめる環境をつくっていくには、ここでしっかりと考えなければならない。あらゆる市の内部の関係機関との連携に加えて、スポーツ協会を始めとした外部の皆さんとも連携を取りながら考えていかなければならない。</p>
中條委員	<p>協会としては、地域展開の実働として受け皿という立ち位置で、本来は教育委員会が窓口となり、三条市スポーツ推進計画に基づいて、我々が活動するというのが筋であり、それをしっかりとスクラムを組んで行うことが大事である。それに対するお膳立ての部分を、お互いに連携し、打合せを密にしていくということが見解の一つである。現場の理解、認識を統一していかなければならないと思っており、結城委員もおられるが、学校の先生方と同じ認識を持てるよう市と連携して進めていきたいというのがスポーツ協会としての見解である。</p>
結城委員	<p>地域展開をどうしていくかということも大事であるが、今の部活動をどう移行していくかが抜け落ちている。学校現場の教職員も戸惑っている状況が続いており、前回の中学生の地域クラブ活動推進委員会で教職員向けの説明会を開くよう要望した。夏の大会までは現行でいき、その後、休日は全て地域展開に変わっていくと聞いているが、具体的にどうしようかということで、年度初めに一年間の見通しを持ってない教職員が多くいて、私の所に不安を抱えて来ている。中には自分の地元で指導に携わりたいという教職員もおり相談を受けている。現場の理解、認識を統一していかなければいけないという中條委員の考えは、そのとおりだと思う。</p>

(4) 事務局より連絡

来年度の委員会は、令和8年7月頃を予定。

6 閉 会 午前10時50分